

道独自の警戒ステージの状況

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者 用病床	療養者数	検査 陽性率	新規 感染者数	先週1週間 との比較	感染経路 不明割合
全道 11/16	674床 (11/15)	18床 (11/15)	増加 1,916人	横ばい 9.2%	1,462 人/週	増加	36.3%
うち 札幌市	306床 (11/15)	13床 (11/15)	1319人	11.1%	964 人/週	増加	45.1%
ステージ4 基準	350床	35床	796人	10%	796 人/週	増加	50%

**11/17から27まで 札幌市に限定して
警戒ステージ4相当の
特措法に基づく強い措置**

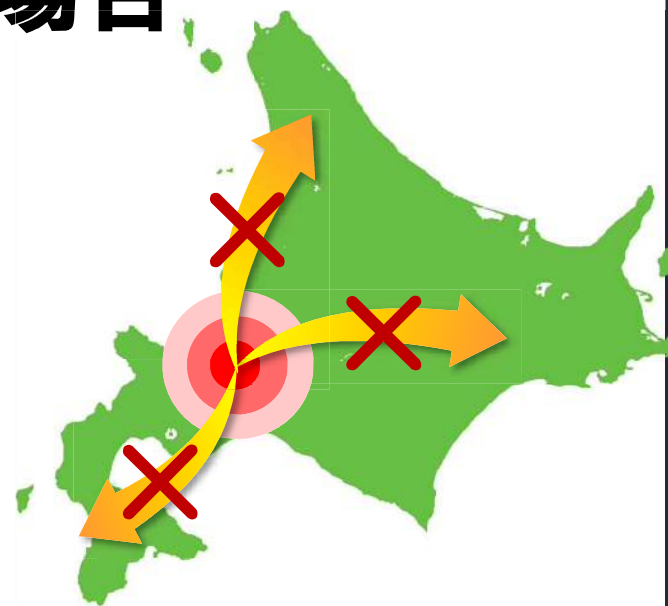
札幌市内における協力要請【追加】

札幌市内滞在中の皆様へ

感染リスクを回避できない場合

① 不要不急の
外出をしない

② 札幌市外との
不要不急の往来をしない



道内全域(札幌市内除く)における協力要請【追加】

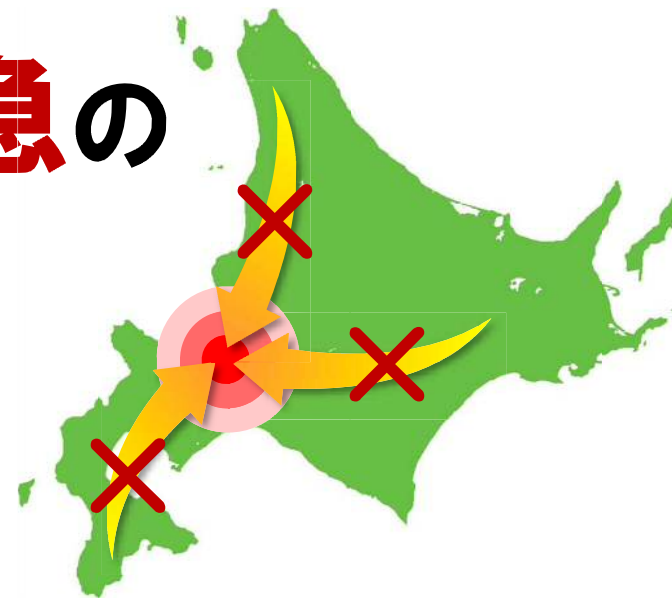
道民及び道内滞在中の皆様へ

① 感染リスクを回避できない場合

札幌市との不要不急の
往来をしない

② 飲食の場面

におけるリスク回避を徹底



10/23 第12回 国の分科会資料(抜粋)

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



感染リスクを回避できない場合の例

1) 利用する施設において

場所を確認

**新北海道スタイル
を実践していない**

感染リスクを回避できない場合の例

2) 屋内において

行動を確認

距離が取れない

長時間の会合

感染リスクを回避できない場合の例

3) 飲食の場面において

飲食の場面で確認

5人以上

**マスクを
しない**

**2時間
を超える**

札幌市と連携した疫学調査等の強化

▶ **体制を強化し徹底した疫学調査を実施**

- 道は、**保健所の調査体制**等を地域の
実情に合わせ、**フレキシブルに拡充・強化**
- 札幌市は、**約100名規模の調査体制**
- 全国知事会等の協力で、
全国から**保健師等を派遣**
- 国が**専門家を派遣**



検査体制の拡充

▶ PCR検査の強化



- PCR検査の**受検勧奨**、**店舗単位**での**検査**の**重点実施**
- 発熱患者**等を**診療・検査**が可能な**医療機関**を**673**か所確保【11/12現在】
- PCR検査センターの**増設**【11/19】

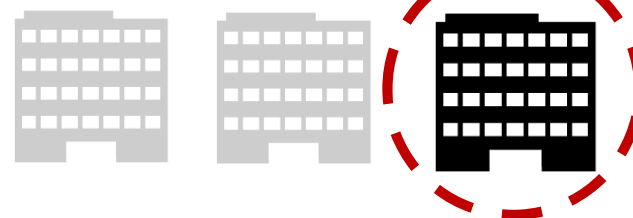
医療提供体制等の拡充

▶ 病床・宿泊療養施設の拡大

○ 即時に対応できる
病床数の拡大



○ 宿泊療養施設の開設【新規】
(札幌市内増設及び他地域の開設検討)



Go To イート での感染防止対策

1 利用者の皆様へ

- 5人以上の**大人数**で利用を**しない**
- 2時間を超えるような**長時間**の飲食を**しない**
- 食事は静かに、**会話はマスク**
- **コロナ通知システム**の活用



2 事業者の皆様へ

- **新北海道スタイル**や**業界ガイドライン**の**実践と利用者への声かけの徹底**